



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.261 2025 March

今月の記事

Top News

- 令和6年度第3回大学等の質保証人材育成セミナー「いまさら聞けないDEI——高等教育の現場から」を開催1

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

- 米国のCHEA・CIQG2025年次会合に出席2

評価事業

- 高等専門学校機関別認証評価について
- 「令和7・8年度に実施する高等専門学校機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する追補研修会」の開催3

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物
- 令和7年度版『新しい学士への途』及び『学位授与申請書類』の発行等4
- 資料の請求方法5
- 令和7年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等6
- 短期大学の専攻科に係る認定の審査について
- 新たに1校1専攻を認定 —令和7年度—8
- 短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に係る再審査について
- 審査対象となった2校2専攻を「可」と判定8

■ 認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

○ 3校5専攻を「適」と判定9

■ 特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について

○ 10校19専攻を「適」と判定10

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程
修了者への学位授与関係

■ 認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

○ 審査対象となった2校4課程を「適」と判定
.....12

機構の窓

○ 会議の開催状況13

主要行事日程

○ Schedule（3月～5月）14

◆ 「NIAD-QEトピックス」への移行のお知らせ◆
.....15



Top News

○ 令和6年度第3回大学等の質保証人材育成セミナー「いまさら聞けない DEI——高等教育の現場から」を開催

令和7年2月21日（金）に、令和6年度第3回大学等の質保証人材育成セミナーを開催しました。第1回、第2回と同様、第1部（講義編）を対面とオンラインのハイブリッド形式、第2部（演習編）を対面形式とし、157人（対面10人、オンライン147人）が受講しました。

今回のDEI（多様性（Diversity）、公平性（Equity）、包摂性（Inclusion））をテーマとしたセミナーでは、特に性的マイノリティや性分化の多様性を中心にあげました。第1部（講義編）では、まず導入として当機構研究開発部の坂口菊恵教授より「性的マイノリティおよび、性分化の多様性の成因論の変遷と社会的インパクト」の講義を行いました。次に、筑波大学人間系助教の河野禎之氏、同大学人文社会系助教の土井裕人氏より、組織においてLGBTQ+に関する取り組みを進めるうえで留意したい点、筑波大学の「LGBTQ+に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」策定のねらいやポイント、当事者間でもニーズや価値観が異なることが多いトランスジェンダーへのサポートについてお話いただきました。

対面参加者を対象とした第2部（演習編）では、DEIに関するいくつかの事例を配付し、組織としてベストな対応、NGな対応を各自で考えていただき、ご自身の所属機関で同様の事例が生じた場合に取り得る対応について検討する演習を行いました。また、参加者自身が業務の中で直面したDEI対応に関する困りごとの共有・相互助言、フリートークを通して、各大学のDEI推進担当者間で活発な交流が行われました。

【概要】

- 日 時：令和7年2月21日（金）13：00～16：50
- 会 場：大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス
- 開催形式：第1部（講義編） ハイブリッド形式
第2部（演習編） 対面形式
- 参加者：157人（対面10人、オンライン147人）
- プログラム：

第1部（講義編）

「性的マイノリティおよび、性分化の多様性の成因論の変遷と社会的インパクト」

坂口 菊恵（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

「性的マイノリティに対してインクルーシブな高等教育機関への転換
—まずここからはじめてみよう—」

河野 禎之（筑波大学 人間系 助教, ヒューマンエンパワーメント推進局業務推進マネージャー）

「多様な構成員と価値観を包摂する高等教育機関に向けた気づき」

土井 裕人（筑波大学 人文社会系 助教）

第2部（演習編）

演習1「事例をもとに、組織的対応を考える」

演習2「業務の中で直面した、DEI対応に関する困りごとや疑問」



第2部（演習編）の様子

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ 米国の CHEA・CIQG2025 年次会合に出席

米国高等教育ア krediteーション協議会（CHEA：Council for Higher Education Accreditation）及び CHEA 国際質グループ（CIQG：CHEA International Quality Group）の年次会合が、令和 7 年 1 月 27 日（月）から 30 日（木）まで米国・ワシントン D.C.で開催され、当機構から森研究開発部教授、鳶田研究開発部教授のほか、評価支援課及び国際課からそれぞれ 1 名（計 4 名）が参加しました。

会合は、「Quality Assurance in an Era of Change - Reflect, Reimagine, Recommit」（変化の時代における質保証―振り返り、再構想、再約束）のテーマの下に 3 日間のプログラムで行われ、300 人以上の参加がみられました。米国の高等教育関係者（大学・カレッジ等高等教育機関、ア krediteーション機関等）を中心に、欧州、中東、アフリカ、中南米等からも参加がありました。

全体会、パネルディスカッション、分科会では様々なトピックで発表や議論が行われ、米国の高等教育が直面する課題や新政権の高等教育政策の方向性、また人工知能（AI）やいわゆる「DEI」（Diversity、Equity、Inclusion）に関する話題が目立ちました。

また、研究開発部の森教授及び鳶田教授が分科会で登壇し、「Opportunities and Challenges for NIAD-QE, Japan」の演題で、大学改革支援・学位授与機構の成り立ちと現在の事業内容や組織構成となった経緯をひも解きながら、機構が直面している課題と機構にとっての機会について発表を行いました。同会合での当機構からの発表は初めてであり、参加者からは、認証評価の内容や認証評価制度と学位授与制度の性質の違いについての質問があり、当機構の事業や特徴を他国の関係者に周知する貴重な機会となりました。

このほか、米国国内外の質保証機関や高等教育機関とのネットワーキングを行い情報交換やパートナーシップの確認を行いました。



森教授



鳶田教授



発表後の質疑応答

※CHEA 及び CIQG について：

CHEA は 1996 年に設立された、米国国内の機関別及び専門ア krediteーション機関を認定し、当該機関の利益を代表する全米規模の民間非営利団体。CIQG は諸外国の高等教育関係機関と質保証の課題に取り組むため、2012 年に CHEA が設立した国際的なネットワーク組織。

CHEA 及び CIQG のウェブサイト：<https://www.chea.org/>

評価事業

■高等専門学校機関別認証評価について

○「令和7・8年度に実施する高等専門学校機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する追補研修会」の開催

令和7・8年度に評価を受審する予定の高等専門学校の自己評価担当者等を対象として令和6年6月に実施した「令和7・8年度に実施する高等専門学校機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会」に関して、高等専門学校が行う自己評価の方法等について特に留意すべき点等を追補し、高等専門学校の自己評価担当者等の評価に対する理解がより深まるよう、追補研修会を実施しました。

今回の研修会は、2月3日（月）から2月28日（金）の期間において、クラウドサイトに格納した動画をご覧ください。形で開催いたしました。

※上記の研修会の配付資料については、当機構のウェブサイトに掲載しています。

https://www.niad.ac.jp/evaluation/certification_evaluation/specialized_specialty/koutou_kanren/entry-5543.html

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物

○ 令和7年度版『新しい学士への途』及び『学位授与申請書類』の発行等

令和7年度版『新しい学士への途』及び『学位授与申請書類』を発行しました（下記◎印）。このほか、当機構では、学士の学位授与制度及び申請方法等について説明した刊行物を毎年度発行しています。

◎ 『新しい学士への途』

学士の学位授与について、制度の概要、単位の修得方法、「学修成果」の作成方法、申請の手順などを解説したもの

◎ 『学位授与申請書類』

学位授与申請に必要な情報や注意点を記載し、申請書類の各様式をとじたもの

・ 学士をめざそう！

学士の学位授与について、学位取得者の体験談及び学位取得までの流れなどを簡単に説明したリーフレット

・ 機構が授与する学士の学位

当機構が、日本において、大学以外で唯一学位を授与できる機関であることと、当機構が授与する学位について説明したリーフレット

※ 上記の冊子等（学位授与申請書類の一部を除く。）については、[当機構ウェブサイト](#)においてPDFファイル等を公表しています。

※ 学位授与申請にあたっては、申請する年度版の『新しい学士への途』（冊子または[当機構ウェブサイト](#)）及び『学位授与申請書類』（冊子のみ）をご利用ください。その後、インターネットを利用した「電子申請」を行った上で、証明書等の必要書類を郵送（書留）する必要があります。

特例適用の認定を受けた専攻科修了見込みの者については、手続きが異なるため、所属する専攻科に確認してください。

○ 資料の請求方法

(1) テレメール（インターネット）での請求方法

① 以下の方法で  テレメールにアクセスしてください。

スマートフォン・ パソコン・携帯電話	https://telemail.jp/	右の二次元コードからも アクセスできます。 
-----------------------	---	---

② ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資 料 名	部 数	資 料 請 求 番 号	料 金 (送料含む)
『新しい学士への途』	1 部 (※)	488724	250円
『学位授与申請書類』	1 部 (※)	488725	270円
『新しい学士への途』 および 『学位授与申請書類』	1 セット	488726	310円
学士をめざそう！	1 部	488727	180円
機構が授与する学士の学位	1 部	488728	180円

学位授与申請にあたっては申請する年度のものをご利用ください。『新しい学士への途』、『学位授与申請書類』は毎年2月末頃に最新版（翌年度申請用）が発行されます。

※ 5冊以上の複数セットを請求する場合は、当機構ウェブサイトから請求してください。

③ お届け先等の登録を行ってください。

請求方法についてのお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター 電話050-8601-0102（9：30～18：00）

(2) 当機構のウェブサイトからの請求方法

[当機構ウェブサイト](#)からも  テレメールを利用して資料請求できます。

URL https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html

（トップページ→「学位の授与」→「学位授与申請・試験に関するお知らせ、申請案内等」
→「申請案内書「新しい学士への途」、「学位授与申請書類」等」ページ下部）

■令和7年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等

1 申請方法

申請にあたっては、インターネットを利用した「電子申請」を行った上で、証明書等の必要書類を郵送（書留）する必要があります。電子申請を行うためには、『学位授与申請書類』を必ず冊子で取り寄せなければいけません。

2 受付期間

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	○ データ入力 令和7年3月14日（金）～令和7年4月7日（月） （最終日は17時までに送信完了）
	○ 書類送付 令和7年4月1日（火）～令和7年4月7日（月） （最終日は当日消印有効）
	○ 学位審査手数料 払込み 令和7年3月3日（月）～ 令和7年4月7日（月）
10月期申請	○ データ入力 令和7年9月9日（火）～令和7年10月3日（金） （最終日は17時までに送信完了）
	○ 書類送付 令和7年9月22日（月）～令和7年10月3日（金） （最終日は当日消印有効）
	○ 学位審査手数料 払込み 令和7年9月1日（月）～ 令和7年10月3日（金）

※データ入力期間の終了間際は、アクセスが集中するためトラブルが発生しやすくなります。また、お問い合わせの電話もつながりにくくなりますので、スケジュールに余裕をもって申請してください。

※学位審査手数料はATMでの払込みはできませんので、窓口の営業日・受付時間に注意してください。

申請書類等の送付先	〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課
-----------	---

3 試験日・試験地区

申請時期	試験の区分	試験地区	試験日
4月期申請	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東京	令和7年 6月8日(日)
		大阪	
	面接試験 (専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」のいずれかでレポート以外の学修成果を提出した者)	東京	
10月期申請	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東京	令和7年 12月14日(日)
		大阪	
	面接試験 (専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」のいずれかでレポート以外の学修成果を提出した者)	東京	令和7年 12月7日(日)

【お問い合わせ先】

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
管理部学位審査課

電話 042-307-1550

FAX 042-307-1555

9:00~12:00 13:00~17:00

(土・日曜、祝日、年末年始を除く。)

■短期大学の専攻科に係る認定の審査について

○ 新たに1校1専攻を認定 ー令和7年度ー

令和6年9月に認定の申出のあった短期大学の専攻科について、各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和7年2月17日（月）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われました。審査の結果、1校1専攻を認定（令和7年度から適用）することとなり、機構長から専攻科の設置者に通知しました。

短期大学専攻科（1校1専攻）

名 称	専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者	適 用 時 期
1 有明教育芸術短期大学	子ども教育専攻	20	1年	学校法人三浦学園	令和7年4月1日

■短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に係る再審査について

○ 審査対象となった2校2専攻を「可」と判定

令和6年度に学則等の変更の届出のあった認定専攻科のうち、教育課程等に重要な変更が生じると認められた専攻科について、認定の再審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和7年2月17日（月）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われ、2校2専攻が「可」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

短期大学専攻科（1校1専攻）

名 称	専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者	適 用 時 期
1 帝京短期大学	臨床工学専攻	40	1年	学校法人冲永学園	令和7年4月1日

高等専門学校専攻科（1校1専攻）

名 称	専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者	適 用 時 期
1 佐世保工業高等専門学校	複合工学専攻	16	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構	令和7年4月1日

■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

○ 3校5専攻を「適」と判定

当機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校専攻科は、認定後、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は7年ごとに審査を行います。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和7年2月17日（月）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、短期大学専攻科3校5専攻が「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者に通知しました。

<令和6年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧>

短期大学専攻科（3校5専攻）

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	日本歯科大学新潟短期大学	歯科衛生学専攻	1 年	学校法人日本歯科大学
2	飯田短期大学	地域看護学専攻	1 年	学校法人高松学園
		助産学専攻		
3	嵯峨美術短期大学	美術専攻	2 年	学校法人大覚寺学園
		デザイン専攻		

■特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について

○ 10校19専攻を「適」と判定

当機構の特例の適用認定を受けた短期大学及び高等専門学校専攻科は、適用認定の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年以内に教育の実施状況等の審査を行い、その後は5年ごとに審査を行います。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和7年2月17日（月）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、短期大学専攻科5校5専攻及び高等専門学校専攻科5校14専攻が「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

＜令和6年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧＞

1 短期大学専攻科（5校5専攻）

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	倉敷市立短期大学	保育臨床専攻	2年	倉敷市
2	札幌大谷大学短期大学部	保育専攻	2年	学校法人札幌大谷学園
3	常葉大学短期大学部	音楽専攻	2年	学校法人常葉大学
4	頌栄短期大学	保育学専攻	2年	学校法人頌栄保育学院
5	長崎短期大学	保育専攻	2年	学校法人九州文化学園

2 高等専門学校専攻科（5校14専攻）

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	函館工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		物質環境工学専攻		
		社会基盤工学専攻		
2	石川工業高等専門学校	電子機械工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		環境建設工学専攻		

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
3	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		生物応用化学専攻		
		電子工学専攻		
4	弓削商船高等専門学校	海上輸送システム工学専攻	2年	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		生産システム工学専攻		
5	神戸市立工業高等専門学校	機械システム工学専攻	2年	神戸市公立大学法人
		電気電子工学専攻		
		応用化学専攻		
		都市工学専攻		

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

○ 審査対象となった2校4課程を「適」と判定

当機構の認定を受けた省庁大学校の課程は、認定後、原則5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、令和7年2月17日（月）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった2校4課程いずれも「適」と判定され、機構長から所管省庁及び各大学校に通知しました。

<令和6年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された省庁大学校の課程一覧>

大学の学部に対応する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 水産大学校	本科	185	4	水産庁

大学院の修士に対応する教育を行う課程（2校2課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 防衛大学校	総合安全保障研究科	30	2	防衛省
2 水産大学校	水産学研究科	10	2	水産庁

大学院の博士課程に対応する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 防衛大学校	総合安全保障研究科	7	3	防衛省

機構の窓

○ 会議の開催状況

• 学位審査会

第4回 令和7年2月17日（月） 14時00分～15時30分 （ウェブ開催）

議事

- 1 学士、修士及び博士の学位授与の審査の結果について
- 2 特例適用専攻科修了見込み者に係る学士の学位授与の審査の付託について
- 3 認定課程修了者等に係る学士、修士及び博士の学位授与の審査について
- 4 専攻科に係る認定の審査等の結果について
- 5 教育の実施状況等の審査の結果について
- 6 特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の結果について
- 7 特例適用専攻科における学修総まとめ科目の実施状況等に関する学位審査会意見について
- 8 学位授与事業に関する規則等の一部改正について
- 9 その他

主要行事日程

○ Schedule

3月

日	行事名	担当課
5日	大学ポートレート運営会議（第22回）	評価企画課
5日	令和6年度法科大学院認証評価検討WG（第2回）	評価支援課
7日	国立大学法人等評価実務担当者説明会（大阪会場）	国立大学 評価室
13日	国立大学法人等評価実務担当者説明会（東京会場）	国立大学 評価室
13日	令和6年度法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課
14日～ 4月7日	令和7年度4月期学位授与申請（データ入力）受付期間	学位審査課
中旬	令和6年度高等専門学校機関別認証評価委員会 （第3回：書面審議）	評価支援課
中旬	令和6年度大学機関別認証評価委員会（第4回：書面審議）	評価支援課

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	令和7年度4月期学位授与申請（書類送付）受付期間	学位審査課
17日	令和7年度学位審査会専門委員協議会	学位審査課
24日	令和7年度認証評価機関連絡協議会評価担当職員研修	評価企画課

5月

日	行事名	担当課
16日	学位審査会（令和7年度第1回）	学位審査課

◆「NIAD-QEトピックス」への移行のお知らせ◆

今後の情報発信につきましては、月刊広報誌「機構ニュース」の発行から[機構ウェブサイト内新設ページ「NIAD-QEトピックス」](#)への随時掲載に移行し、当機構の情報をリアルタイムで発信いたします。詳細につきましては後日ウェブサイトトップページや機構公式Xアカウントにてお知らせいたします。

平成6年7月より発行を続けてまいりました「機構ニュース」をこれまでご愛読くださった皆様に心より御礼申し上げますとともに、今後とも当機構の情報発信にご期待くださいますようよろしくお願い申し上げます。

機構ニュースのアーカイブは[こちら](#)



第1号

(冊子体での発行)



第35号

(学士(芸術学)取得者の作品掲載)



第45号

(電子媒体での最初の発行)

NIAD-QEトピックスは、トップページ右のバナーから閲覧いただけます。
アクセスをお待ちしております。

(令和7年4月以降 ウェブサイトイメージ)



新バナー画像



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

